

■ 研究推進委員会 活動計画書

提出日：2018年11月28日
 理事会承認日：2018年12月8日

名 称	グリーンインフラ研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：木下剛（千葉大学大学院園芸学研究科）
幹 事	氏名（所属）：橋本慧（株式会社プレック研究所） 連絡先 e-mail アドレス：k-hashimoto@prec.co.jp
その他 構成員	氏名（所属）： 一ノ瀬友博（慶応義塾大学），岩崎寛（千葉大学），植田直樹（三菱地所設計），片桐由希子（首都大学東京），加藤禎久（岡山大学），木田幸男（東邦レオ），竹内智子（東京都），武田史朗（立命館大学），寺田徹（東京大学），福岡孝則（東京農業大学），村上暁信（筑波大学），山田順之（鹿島建設）
目 的	<p>グリーンインフラの社会実装を推進するための学術的支援を行うことを本研究推進委員会の目的とする。</p> <p>グリーンインフラの概念及び実践は、造園分野においては必ずしも新しいものではないが、グリーンインフラの取り組みにおいては造園学の知見や技術が最大限に生かされてしかるべきである。グリーンインフラによる持続可能な地域社会の形成に向けた取り組みが国際的、国内的にも注目を集める中で、造園学会としてもその支援の体制や窓口を固めておくことは有意義なことと考えられる。</p> <p>そこで、本研究推進委員会は、産官学民の関係者がフラットに議論し活動できるプラットフォームを提供し、そこでの議論や活動の成果を社会に向けて戦略的に発信することで、上記目的の達成を目指す。</p>
活動計画 及び 想定される 成果 (1年目)	<p>現在、グリーンインフラの社会実装に向けて、行政や民間において様々な動きが出てきている。それらの情報を集約し、現状と課題を整理する。</p> <p>二ヶ月に一度程度の割合で委員会を開催し、構成員が関係する最新の事例（国内外におけるプロジェクトや政策・施策、市民活動等）を持ち寄り共有、今後の課題等について議論する。委員会では構成員以外の方をお呼びして話題提供をお願いすることも想定される。</p> <p>事例収集にあたっては、グリーンインフラの導入機会や導入方法を広く共有するというねらいから、大きく以下の技術情報を重視する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 施策化・事業化の手法 2) エンジニアリングに関する情報 3) 導入の決め手、合意形成のきっかけ、インセンティブ等 <p>初年度の活動の総括として、日本造園学会全国大会の研究フォーラムにて発表、学会員との意見交換を行う。</p>
(2年目)	<p>2年目も基本的には初年度と同様の活動を行うが、報告書をまとめて公開することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究フォーラムの開催 ・報告書の作成と公開（可能であれば出版も視野に入れる）